



学校部活動から地域クラブ活動展開へ

群馬県総括コーディネーター・NPO法人新町スポーツクラブ理事長 小出利一

誰も体験したことがないスポーツ界全体の大改革のスタート

今まで（学校内活動）
部活動地域連携

これから（地域活動）
地域クラブ活動へ

なぜ、地域クラブ活動展開に向かうのか

- ① 加速度的に進む少子化によって多くの地域において学校単位の活動が困難な状況
- ② 教員の働き方改革

令和元年11月衆議院文部科学委員会附帯決議、12月参議院文教科学委員会附帯決議において
「部活動を学校単位から地域単位の取組とし、学校以外の主体が担うことについて検討を行い、
早期に実現すること」と明記されている

R7年度 保護者・地域住民・教員への周知活動

令和7年度 群馬県部活動改革セミナー

地域スポーツクラブ活動の 国や県の動向から、 体制整備を進めるポイントを探る

講演講師

小出 利一 氏

スポーツ庁地域SC活動アドバイザー
NPO法人新町スポーツクラブ理事長
群馬県総括コーディネーター



参加対象者

【行政】

市町村教育委員会関係者
市町村スポーツ・文化関係者

【公立中学校】

中学校・義務教育学校(後期)・中等教育学校(前期)の管理職
部活動の地域移行担当者
PTA関係者・保護者

【その他】

地域移行に興味関心のある方

参加無料

プログラム 14:00~16:00
(受付13:30~)

第1部：講演

国の方向性について

・小出 利一 氏

第2部：説明

県の方向性について
(県内外の取組)

・小林 史尚 群馬県教育委員会健康体育課 指導主事
・小山 靖弘 群馬県教育委員会健康体育課 指導主事

第3部：情報交換

部活動の地域移行
(地域展開)へ

質疑応答

会場・申込

どの会場でも基本的な内容は同じです

令和7年7月12日(土)

太田市学習文化センター視聴覚ホール



申込締切
令和7年7月6日(日)

令和7年7月26日(土)

中之条町ツインプラザ 大会議室



申込締切
令和7年7月20日(日)

令和7年8月9日(土)

安中市文化センター 大会議室



申込締切
令和7年8月3日(日)

【主催】群馬県教育委員会 群馬県地域創生部

お問合せ ☎ 027-226-4711 (群馬県教育委員会健康体育課)

地域展開における

地方自治体の役割を考える
～都道府県を越えた仲間をつくろう～

運動部活動

地域展開推進

シンポジウム

参加費
無料

令和7年度 スポーツ庁委託事業
地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業



日程(予定)

8月1日(金)

12:30 受付開始
13:20 スポーツ庁基調講演
日本スポーツ協会情報提供
14:40 ハネルディスカッション
16:00 参加者と意見交換
16:30 解散

8月2日(土)

9:00 受付開始
9:40 ブース別意見交換
(3ブース予定)
11:20 情報交換会
11:50 諸連絡
12:00 解散

○会場は、JR高崎駅東口から徒歩約15分です
○宿泊場所の斡旋はおりません

※「地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」を
受託している自治体及び団体等は、本シンポジウムに参加
する際の旅費を、実証事業の経費として計上することがで
きます(スポーツ庁及び事務局へ確認済み)。

【主催】群馬県教育委員会 群馬県地域創生部

お問合せ ☎ 027-898-3857

(群馬県教育委員会健康体育課)

開催場所

Gメッセ群馬 中会議室301

〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12-24

日時

8 / 1 (金) ・ 2 (土)
13:00・16:30 9:30・12:00

定員

先着150名 締切：7月15日
(参加者多数の場合は 申込を締め切る場合があります)

参加対象者

- ①国・都道府県(政令都市)の
地域移行担当者、コーディネーター等
- ②全国の市区町村の地域移行担当者、
コーディネーター等
- ③地域移行関係者
(学校、運営団体、実施主体等の関係者)

申込はこちらから



学校部活動地域連携・地域クラブ活動移行に向けた自治体の取り組み状況



JSPO
Japan Sport Association



4-1. 運営団体・実施主体の形態（回答数 ※複数回答可）

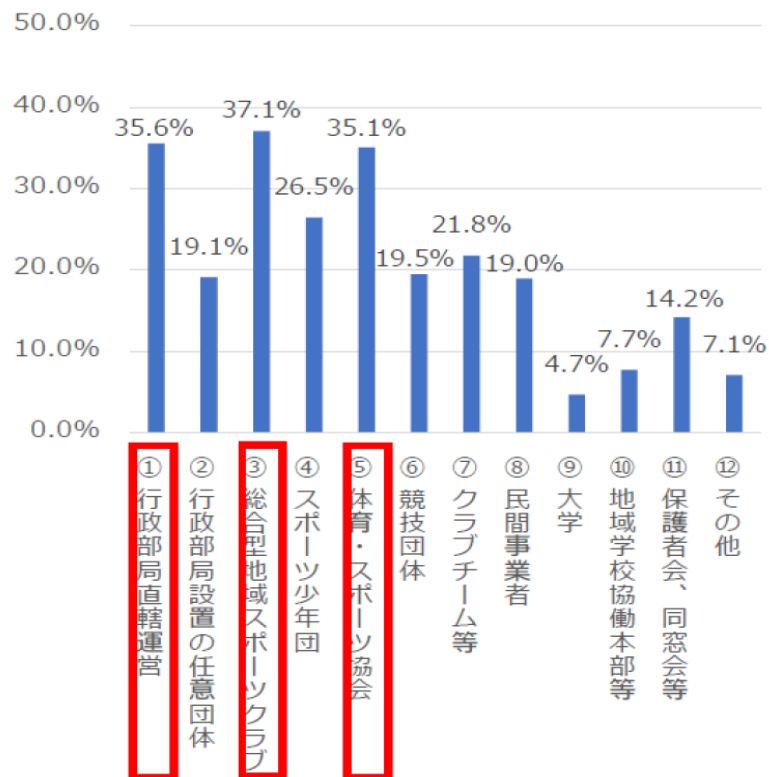
運営団体は、「総合型地域スポーツクラブ」の回答が最も多く、次いで「行政部局直轄運営」、「体育・スポーツ協会」の回答が多い。実施主体は、「総合型地域スポーツクラブ」の回答が最も多く、次いで「体育・スポーツ協会」、「スポーツ少年団」の回答が多い。

※令和6年度時点での状況、または現時点での予定を調査。

※学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインに係るフォローアップ調査結果（速報値）R6.8 スポーツ庁

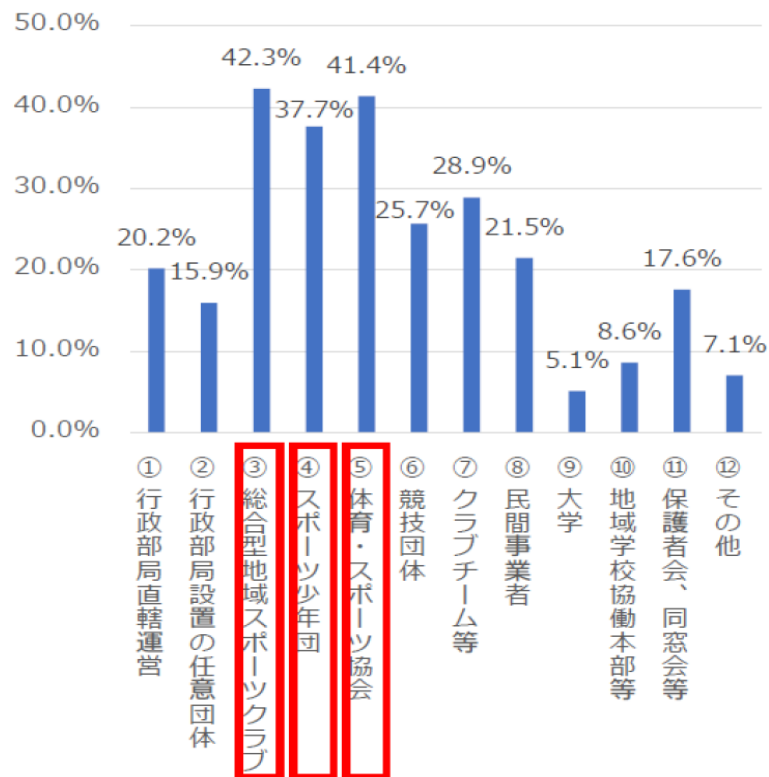
①運営団体

(n=790)



②実施主体

(n=778)



【①運営団体とは】
実施主体をまとめて
マネジメントする
組織（法人が好ましい）
【②実施主体とは】
種目別にスポーツ・
文化活動を行う組織

群馬県の課題

1. マネージメント人材が不足している
2. 総合型地域スポーツクラブを設置している市町村が少ない

スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブ

スポーツ少年団

- 日本体育協会（当時）とオリンピック委員会中心に昭和37年6月23日創立
- 3歳から大人まで登録できる組織
- 人を育成する青少年団体。
アスリートを養成するための団体ではない
- 中高校生以上は地域のスポーツボランティアとして活躍するための研修会があり、生涯スポーツ人材育成カリキュラムが整っている

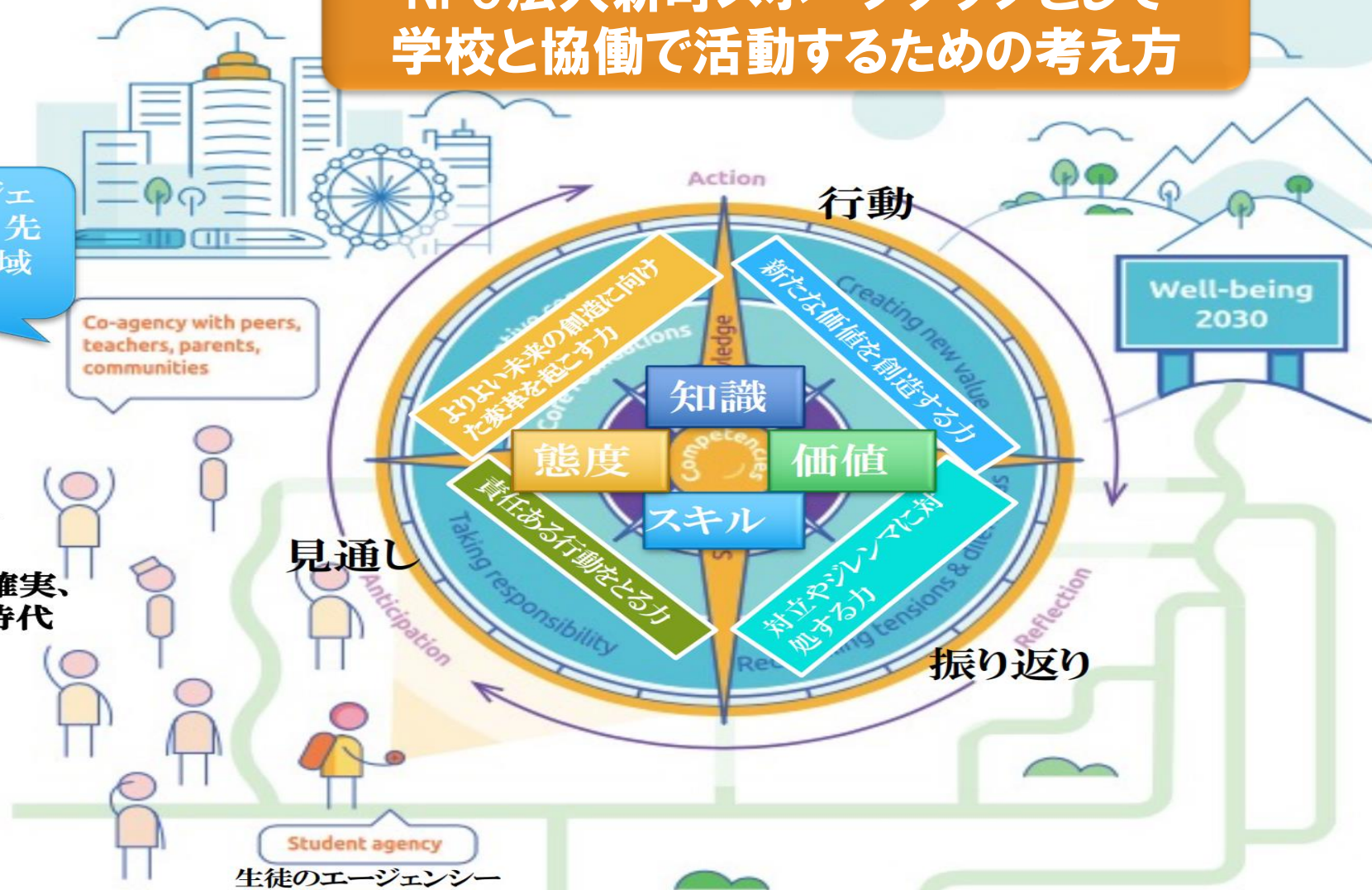
総合型地域スポーツクラブ

- 平成7年度文部省（当時）主導で全国数か所でモデル地域を指定
群馬県は平成9年度日本体育協会（当時）からモデル地域指定を新町が受託して平成12年11月に県内初の総合型地域スポーツクラブとして設立
- 多種目、多世代、多趣向を旗印に組織した地域スポーツとして新しい公共を担う団体
- 総合型地域スポーツクラブは非営利組織として活動している
- 令和7年度 全国登録1,121クラブ
(内 群馬県17クラブ)

共同のエイジェンシー：仲間、先生、家族、地域社会

2030年の世界がより良くなること

2030年の世界がより良くなること



資料：OECD Education 2030 プロジェクトより

NPO法人新町スポーツクラブと 新町中学校は協働の関係



学校と地域の協働活動
Winwinとなる関係構築

【コーディネーターの役割】

- ① 大切なことは信頼関係
- ② 情報共有
教員とクラブ関係者
による定期的な情報
交換会の開催
- ③ 生徒会と情報交換
- ④ 保護者と情報共有
- ⑤ 地域と情報共有

代表的な先進県としての動き

岐阜県の動き



中学校休日部活動の地域移行スケジュール

令和6年度作成

これまでの経緯と改革の方向性

令和4年度は準備の年として、各種会議の開催、先行事例の普及、指導者確保などを実施。令和5年度は移行初年度として、国予算(実証事業)を活用しながら、地域移行を推進。令和6年度は、引き続き国の事業を活用し、休日部活動の地域移行を進めていくとともに、移行後の地域クラブのフォローアップをしていく。令和7年度末までに、休日部活動を地域クラブ活動へ移行することを目指す。

改革の方向性

- ◆指導者への謝金を補助する支援や、部活動の受け皿となる運営団体への支援
- ◆地域移行に向けた調整を行うコーディネーター配置や、県・市町村に事務局を設置
- ◆指導者育成のための研修会を継続開催、指導者不足の解消のための指導者バンクの整備

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
	準備期間		改革推進期間			休日の地域クラブ活動開始	
地域クラブ活動移行目標値			43.2 % 784部/1,815部	75 % 1,362部/1,815部	100 % 1,815部/1,815部	平日部活動の段階的な地域移行	
検討会・推進会議	推進会議 年3回	推進会議 年3回 在り方検討会 年5回	地域クラブ活動推進会議 年3回			運営団体の体制が整備され、休日部活動が地域クラブ活動に移行完了したところから、平日部活動の段階的な地域移行を進める	
先行事例の普及	羽島市 下呂市 安八町		地域クラブ活動体制整備事業 ・コーディネーター配置 ・運営団体の体制整備 ・合同部活動の推進 ・地域指導者配置	地域クラブ活動推進コーディネーター会議 年8回 予定	地域クラブ活動推進コーディネーター会議 年8回 予定		
運営団体の整備		中学校運動部活動地域移行推進事業(実証調査)	運営団体及び実施主体の体制整備 持続可能な運営団体及び実施主体の在り方について実証的検証	県内・県外の課題解決例の普及 R5地域クラブ体制整備事業の成果を踏まえて事業を展開 【国の事業を積極的に活用】 県内・県外の運営団体の好事例の普及	地域クラブ活動推進コーディネーター会議 年8回 予定		
指導者確保と要請		認定書発行 325名	地域クラブ指導者育成研修会				
県人材バンク登録			認定書発行者 460名	認定書発行目標 1000名	新規指導者の確保	認定書の更新及び新規指導者の確保	
推進体制		ガイドライン確定 部活動改革係設置	県人材バンクシステム運用				
			人材バンク登録者 120名	人材バンク年間登録目標 100名	人材バンク年間登録目標 800名	新規登録者の継続的募集	
			現行ガイドライン運用及び次期ガイドライン検討				ガイドライン見直し策定
			地域移行に係る事務局設置 (相談窓口)				

3つの団体がまとまって新しい時代に新しい団体へ改革

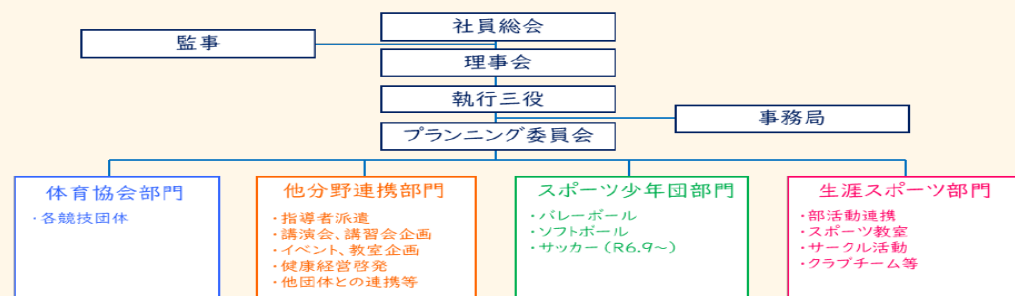
地域のスポーツ団体が1つになって幅広い住民へのスポーツ機会を提供



岐阜県白川町

体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団が1つになって 幅広い地域住民へのスポーツ機会を提供

- 保護者が担っていた学校部活動と連携した取組を平成21年から総合型地域スポーツクラブ（チャオ白川スポーツクラブ）が引き継ぎ、下校後の時間にスポーツ活動の機会を提供。
- 将来的に町の公共スポーツ施設の管理を担う団体が求められていた背景等があり、平成25年に町議会とスポーツ団体との懇談会が開催され、町内のスポーツ団体を一つにまとめる話し合いが開始。
- 話し合いや検討等を重ねて、平成29年3月に、体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ（チャオ白川スポーツクラブ）が1つになった一般社団法人スポーツリンク白川を設立。
- 平成29年度からスポーツリンク白川が町の公共スポーツ施設の一部を指定管理。
- 平成30年、平成31年には、廃部になったS中学校の女子ソフトボール部と男子バレーボール部に代わるクラブをスポーツリンク白川の活動として実施。令和5年度には、男子バレーボール部が中体連の大会にも参加。
- 今後の中学校の統合を見据え、令和9年度以降、スポーツリンク白川が運営団体として新たな地域クラブ活動を担う方向で検討中。



一般社団法人スポーツリンク白川の組織体制



複数団体が1つの組織となり、
法人格を取得した団体として、
公共スポーツ施設の指定管理者
としての役割も果たすとともに、
幅広い地域住民へのスポーツ機会を提供

複数の市区町村による広域連携の取組

R7.6.3吾妻郡・川場村関係者を中心に視察した

群馬県北部は、スポーツツーリズムで活性化できる

◆ 長野県南佐久郡

(令和6年4月1日時点)



- 6町村（佐久穂町・小海町・北相木村・南相木村・南牧村・川上村）
- 人口：22,445人
- 中学校数：4校（公立）
- 生徒数：507人

● 現状・課題

- ・中学校の生徒数は、10年前に比べて約75%に減少
- ・集団競技を中心に学校単独でチームが作れず、大会に参加できない状況も発生
- ・郡内のスポーツ少年団は数が少なく、スポーツクラブや総合型地域スポーツクラブはない

➤ 6町村が連携した地域クラブ活動

- ・拠点校方式合同部活を経て、令和5年度から休日の部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行
- ・平日の部活動の移行についても着手

▼ 8部活動で実施

令和6年度 南佐久の部活動と休日の活動（5月9日現在）

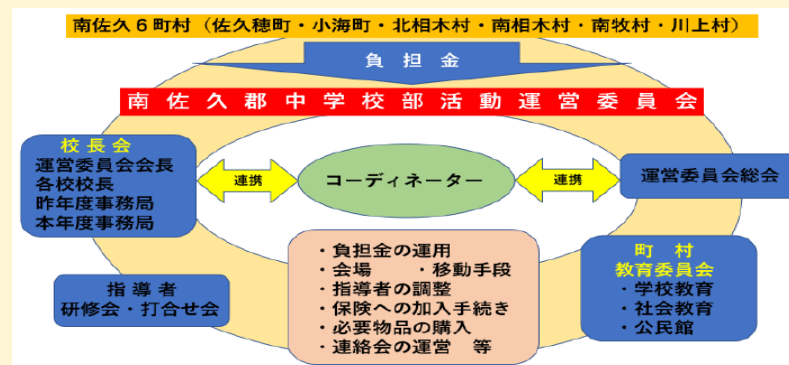
部活	種類	川上中	南牧中	小海中	佐久穂中	大日向中	指導者	
							教員	地域
野球	単（合同）	単	合同	単	単			
サッカー	拠点	0	3	15	15	1	6	1
女バレー	単・拠点	単	6	14	単		3	1
男バレー	拠点	0	0	2	11		3	0
女バスケ	拠点（2）	0	6	7	14	3	3	2
男バスケ	拠点	0	5	0	17	1	2	2
軟式テニス	単	単			単			
陸上	拠点・団体	23	7	2	団体		2	1
スケート	単	単	単	単				
卓球	拠点・単	4	5	11	単		3	1
柔道・剣道	単・団体	単	団体	団体	団体			
吹奏楽	単	単	単	単	単			
美術	単	単	単	単	単			
指導者合計							22	8

▼ サッカー部がなかった学校の生徒も大会に出場



➤ 運営体制

- ・令和5年4月「南佐久郡中学校部活動運営委員会」設置
- ・統括コーディネーターを中心に関係者と連携
- ・4校校長会で情報共有・意見交換を実施
- ・6町村からの負担金については、人口に応じて算出



➤ JR線利用料補助、町村所有バスの活用

- ・赤字路線の活性化と休日における生徒の移動手段の両立を目指す
- ・平日の活動や大会参加時に町村所有のバスを使用

令和5年度成果報告書、南佐久郡作成資料をもとにスポーツ庁にて作成。

地域展開の進捗が思わしくない地域とは

- 自分たちの地域の客観的データの調査不足
- 今 大丈夫だからと将来を見据えていない姿勢
- 子ども達の意見を聞いていない
- 職員数が少ないために業務が停滞している
- 予算配分が少ないため業務が遂行できない 等

【課題解決のために】 「行政機関は縦割りではなく協働で地域づくりへ」

- できない論を排除してみんなで知恵を出し合う雰囲気が必要
- 地域クラブ活動展開の本質 (本質は地域活性化である) をしっかり学ぶことが大切
- 主役である子ども達の意見を謙虚に聞いて、学んで、実行する企画実行力が必要
- 「行動するから具体的な課題が明確化になる」ことを知る
- 失敗も成功もない全く新しい取り組み

→子ども達の未来のために勇気を持って前に進む姿勢が大切